

作成日 2015年01月05日
改訂日 2016年06月01日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ランネット45DF
 整理番号 3022-04
 供給者の会社名称 北興化学工業株式会社
 住所 〒103-8341
 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
 担当部門 環境安全部
 電話番号 03-3279-5151
 FAX番号 03-3279-5195
 緊急連絡電話番号 03-3279-5151
 推奨用途及び使用上の制限 農薬(殺虫剤)

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
 急性毒性(吸入:粉じん) 区分3
 発がん性 区分1
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(神経系)
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器系腎臓)
環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分1
 水生環境有害性(長期間) 区分1
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
 H301+H331 飲み込んだり、吸入すると有毒
 H350 発がんのおそれ
 H370 神経系の障害
 H371 呼吸器系の障害のおそれ
 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
 粉じんを吸入しないこと。(P260)
 粉じんの吸入を避けること。(P261)
 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

	<p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)</p> <p>環境への放出を避けること。(P273)</p> <p>保護手袋を着用すること。(P280)</p> <p>飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。(P308+P313)</p> <p>医師に連絡すること。(P311)</p> <p>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。(P314)</p> <p>特別な処置が必要である。(P321)</p> <p>口をすすぐこと。(P330)</p> <p>漏出物は回収すること。(P391)</p> <p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)</p> <p>施錠して保管すること。(P405)</p> <p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p> <p>吸入、経口で急性毒性がある。吸入毒性は高い。コリンエステラーゼ活性阻害。</p> <p>急性毒性物質(毒劇法「医薬用外劇物」)</p> <p>情報なし</p>
応急措置	
保管	
廃棄	
他の危険有害性	
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
ランネート粉剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
S-メチル-N-[(メチルカルバモイル)オキシ]-チオアセトイミデート (別名 メソミル)	45.0%	C ₅ H ₁₀ N ₂ O ₂ S	-	2-(5)-130	16752-77-5
結晶質シリカ	<10%	SiO ₂	(1)-548	(1)-548	7631-86-9
エチレングリコール	<1%	C ₂ H ₆ O ₂	(2)-230	(2)-230	107-21-1
その他鉱物質微粉等	45-55%				

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに移動し、新鮮な空気を吸わせる。呼吸困難に陥った場合には酸素吸入を行う。呼吸が停止した場合には人工呼吸を行う。すぐには症状がなくても医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣服や靴などを脱ぐ。直ちに多量の水と石けんで付着した部位を15-20分間洗い流す。汚染された衣類は洗濯してから使用する。

眼に入った場合

目を開いて、直ちに水で15分間静かにすすぐ。コンタクトレンズをしている場合は、そのまま5分間目をすすいでからレンズをはずし、引き続き水ですすぐ。医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

コップ1-2杯の水を飲ませ、直ちに医師の手当を受ける。可能であれば、指または丸いもので咽頭後壁を刺激して吐かせる。意識不明に陥っている場合には、吐かせてはいけないし、口から物を入れてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

急性コリンエステラーゼ活性阻害作用に関連して、悪心、頭痛、筋肉の脱力、けいれん、多汗、唾液分泌増加、流涙、縮瞳、視界のぼやけ、筋肉のけいれん、錯乱や血液学的影響。重症の場合は意識喪失、けいれんや呼吸困難。

応急措置をする者の保護
医師に対する特別な注意事項

口移し人工呼吸は行わない。
解毒剤としては硫酸アトロピン製剤が有効。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性
特有の消火方法

火災時に有害ガスが発生するおそれがある。

消火作業は風上から行う。

火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。

周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行なう。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋またはドラム缶等に回収する。回収後の少量の残留物は、土砂またはおがくず等に吸収させる。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

接触回避
衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする
こと。
作業衣を家に持ち帰ってはならない。

保管

安全な保管条件 冷所、換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して保管すること。
安全な容器包装材料 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
S-メチル-N-[(メチルカルバモイル)オキシ]-チオアセトイミデート (別名 メソミル)	未設定	未設定	TWA 2.5 mg/m ³ , STEL -
結晶質シリカ	E=3.0/(1.19Q+1) E 管理濃度(mg/m ³) Q 遊離けい酸含有率(%)	0.03mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)	TWA 0.025 mg/m ³ , A2
エチレングリコール	未設定	未設定	TWA -, STEL C 100 mg/m ³ (H)

設備対策

取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、
機器または局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のた
めの設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 防じんマスク
手の保護具 保護手袋
眼の保護具 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具 保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 固体
形状 水和性微粒及び細粒
色 青色

臭い

データなし

pH

5.1(10%)

融点・凝固点

78.6~80.4°C(原体)

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

燃焼又は爆発範囲

データなし

蒸気圧

7.2 × 10⁻⁴Pa(25°C)(原体)

比重(密度)

0.75(見掛け)

溶解性

水46g/L(20°C)(原体)

n-オクタノール／水分分配係数

log Pow 0.09(25°C)(原体)

自然発火温度

データなし

分解温度

136°C(原体)

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。

危険有害反応可能性

強アルカリ性で分解。火災又は高熱により容器が
激しく破裂する恐れがある。

避けるべき条件

アルカリとの混合や接触

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

シアン化水素(青酸)、メチルイソシアネート、窒素酸化物、イオウ酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

経口	ラット(雄) LD ₅₀	73 mg/kg
	ラット(雌) LD ₅₀	84 mg/kg
経皮	ラット(雄) LD ₅₀	> 2,000 mg/kg
	ラット(雌) LD ₅₀	> 2,000 mg/kg
吸入	ラット LC ₅₀ (4h)	0.76 mg/L

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
呼吸器感受性又は皮膚感受性
生殖細胞変異原性

皮膚刺激性試験(ウサギ) : 刺激性なし
眼刺激性試験(ウサギ) : 軽度の刺激性
皮膚感受性試験(モルモット) : 陰性
メソミル: 細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性は認められなかった。
動物試験においては遺伝子は損傷されなかった。
メソミル: 動物実験では、発がん性を示唆する所見はなかった。

発がん性

区分1Aの結晶性シリカを10%未満含むため、区分1とした。

生殖毒性

メソミル: 動物試験により、親に有毒となる用量と同じ、あるいはそれ以上の用量において、児動物への影響が示された。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(神経系)のメソミルを45%、区分1(呼吸器系)の結晶質シリカを10%未満含むため、区分1(神経系)、区分2(呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器系、腎臓)の結晶質シリカを10%未満含むため、区分2(呼吸器系、腎臓)とした。

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類 :コイ	LC ₅₀ (96h)	9.41 mg/L
甲殻類:オオミジンコ	EC ₅₀ (48h)	0.0128 mg/L
藻類	EbC ₅₀ (0-72h)	219 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を得た産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

燃焼処理を行う場合

1) (1)そのままスクラバーを具備した焼却炉で焼却する。(2)可燃性溶剤とともにスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。

2) アルカリ法: 水酸化ナトリウム水溶液等と加温して加水分解する。

汚染容器及び包装

使用残りの薬剤が生じないように調製する。空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。取扱い、保管、輸送、処分は毒物及び劇物取締法の定めに従う。保管や処分により貯水や食料・飼料を汚染させないようにする。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMO

UN No.	2757
Proper Shipping Class	Carbamate pesticide, solid, toxic (Methomyl)
	3

	Sub Risk	6.1
	Packing Group	Ⅲ
	Marine Pollutant	Applicable
MARPOL		Not Applicable
航空規制情報		
ICAO/IATA	UN No.	2757
	Proper Shipping Class	Carbamate pesticide, solid, toxic (Methomyl) 3
	Sub Risk	6.1
	Packing Group	Ⅲ
国内規制		
陸上規制情報		
毒物及び劇物取締法	劇物	
海上規制情報		
船舶安全法	国連番号	2757
	品名	カーバメート系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの) (他に品名が明示されているものを除く。)
	国連分類	3
	副次危険	6.1
	容器等級	Ⅲ
	海洋汚染物質	該当
航空規制情報		
航空法	国連番号	2757
	品名	カーバメート系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの) (他に品名が明示されているものを除く。)
	国連分類	3
	副次危険	6.1
	等級	3
特別の安全対策		輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号		151

15. 適用法令

農薬取締法		登録番号 第20863号
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質	メソミル
労働安全衛生法	表示対象物	メソミル、シリカ
	通知対象物	メソミル、シリカ
毒物及び劇物取締法	劇物	メソミル
化審法	優先評価化学物質	エチレングリコール
船舶安全法	毒物類・毒物	
航空法	毒物類・毒物	

16. その他の情報

引用文献 デュポン株式会社 ランネット45DF 製品安全データシート 改訂日 2014年3月26日改訂9版

記載内容の問合せ先	会社名	北興化学工業株式会社
	担当部門	環境安全部
	電話番号	03-3279-5151
	FAX番号	03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)
 中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499(情報料無料)
 365日 24時間対応
 (つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365日 9～21時対応
医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (1件2,000円)
365日 24時間対応
(つくば) 029-851-9999 (1件2,000円)
365日 9～21時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。